

事 務 連 絡
令和 2 年 1 月 21 日

各都道府県消防防災主管課 } 御中
東京消防庁・各指定都市消防本部 }

消防庁消防・救急課

女性消防吏員の現況及び更なる活躍に向けた取組の推進に関する調査
の結果について

「女性消防吏員の現況及び更なる活躍に向けた取組の推進に関する調査の実施について（依頼）」（令和元年 6 月 7 日付け消防消第 62 号）により依頼させていただいた標記調査の結果を別添のとおり情報提供いたします。

今後の執務上の参考としていただくとともに、各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しましても、情報共有いただきますようお願いいたします。

消防庁消防・救急課
職員第一係 田村・森重
TEL : 03-5253-7522
FAX : 03-5253-7532
E-mail : shokuin@soumu.go.jp

女性消防吏員の現況及び更なる活躍に向けた取組の推進に関する調査集計結果

(調査基準日：平成31年4月1日現在)

【女性消防吏員に関して】

女性消防吏員の有無 N=726	いる	いない
	548	178
	75.5%	24.5%

(女性消防吏員の有無で「いる」と回答した場合)女性消防吏員の人数 N=548	4,736人
---	--------

(女性消防吏員の有無で「いる」と回答した場合) 最上位の階級 N=548	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	消防司監	消防総監
	133	69	142	143	42	11	6	2	0	0
	24.3%	12.6%	25.9%	26.1%	7.7%	2.0%	1.1%	0.4%	0.0%	0.0%

【女性吏員の数値目標に関して】 (※令和元年12月末現在)

数値目標設定の有無 N=726	あり	なし
	706	20
	97.2%	2.8%

(数値目標設定の有無で「なし」と回答した場合) 数値目標設定予定の有無 N=20	あり	なし
	9	11
	45.0%	55.0%

【女性の受験者増に向けての活動】

平成31年4月以降で、女性消防吏員の受験者増加及び採用者数増加に向けて実施した活動または実施を予定している活動(複数選択可) N=1,373	新規採用希望者向け インターンシップを消防 本部主催で実施	左記のうち、女性専用 枠や女性向けインター ンシップイベント等を設 けで実施	消防機関以外が主催 する就職情報イベント (合同説明会、職業体 験会等)に参加	消防職員が直接高等 学校や大学等を訪問 し、就職担当者や学生 等に受験を呼びかけ	女性向け採用情報を 掲載したホームページ や就職活動者向けパ ンフレットを別途用意	育児休業期間や女性 向け施設の整備状況 など、福利厚生面等の 周知	その他 (下記参照)	行っていない
	83	29	291	335	161	141	153	180
	6.0%	2.1%	21.2%	24.4%	11.7%	10.3%	11.1%	13.1%

○上記その他についての主な事例

(説明会)

消防本部で管内高校の就職担当教員に対する採用説明会を開催。
他の消防本部と合同の女性向け採用説明会を実施。
消防職員採用説明会を主催しており、ホームページでの広報、県内及び近隣都県の各種学校へ案内を送付している。説明会の中で、女性職員の配置状況や出産・育児に関する福利厚生等の女性向けの説明を実施している。

(インターンシップ)

中学校、高等学校のインターンシップを積極的に引き受け、消防業務に興味と理解を得られるように実施。
県内消防本部合同で女性限定の体験型インターンシップを実施。

(学校への広報等)

消防訓練、救命講習会等において、中学校及び高等学校に出向いた際、学生や進路指導担当者に職業紹介並びに受験を呼びかけている。
管内中学校における職業セミナーに女性職員を派遣。
近隣の女子大学及び女子高等学校に職員採用試験要項等を送付し、積極的に周知している。
高等学校、大学等を訪問した際に、女子学生で採用試験の受験を希望している生徒がいれば、施設見学や女性消防吏員との座談会等の機会を設ける旨の説明を行っている。
大学が実施する公務員講座に講師として参加。

(メディア等)

市広報誌に女性消防士の特集記事を掲載し、女性の活躍できる職場であることを周知した。
管内のケーブルテレビ放送等の取材に対し、現職の女性消防吏員を積極的に起用することで住民への広報に努めている。
女性吏員がコミュニティーFMラジオに出演し、消防業務における女性吏員の活躍を発信するとともに女性の受験を呼びかけた。

(ホームページ・SNS)

女性消防吏員を起用した採用PR動画を消防局ホームページやYouTubeに公開。
市広報誌及び市ホームページでの採用募集に女性職員の写真を掲載。
市の総務課人事担当で、ホームページ・広報を使用し男女問わずの採用の周知を行っている。
市の公式ツイッターによる広報。
Facebookによる広報。

(ポスター等)

地元の大学の女子学生と共同で、女性消防吏員採用のポスター制作を行っている。
職員募集のポスターに女性消防吏員のイラストを載せるとともに、女性も対象としたキャッチフレーズを記載した。
女性消防吏員を起用した採用ポスターを市内商業施設及び鉄道主要駅等に掲出。
消防本部で男性消防吏員及び女性消防吏員の写真を使用した男女共通の新規採用職員募集ポスターを作成し、掲示している。

(その他)

学力・体力試験、身長・体重等の身体的制限を廃止して、女性や社会人が受験しやすい「人物重視」の採用試験を実施
採用の案内通知で「当消防組合では、女性職員の活躍を推進し、活力ある職場づくりに努めており、広く優れた人材を求めています。」という文言を添えて案内している。

【女性の受験者増に向けての活動】

○特に女性の採用推進の観点から、効果があったと思われる事例

(説明会)

就職情報イベントにて、実際に女性消防吏員が実体験を交えて生徒や保護者に職場説明をした方が、より説得力があった。
女性用の活動服・救助服・救急服を購入し、それを着用して消防士体験が出来る体験型就職説明会を開催した。参加者からは、自分が消防士になるイメージが出来た、全種類の制服を着用してみたいなど、大変好評であった。
説明会とは別に庁舎見学会(自衛隊・警察合同見学会)を行ったことで、「説明だけではわからない部分を実際に見て知ることができた。」との感想が多かった。
市町村職員採用合同説明会で、説明員として女性職員を配置したことにより、女性に関する質問等について受け答えしやすいと好評であり、説明を実施した希望者の中から、実際に受験した女性もいた。
採用説明会で、女性だけのグループを作り、女性職員との質問コーナーを設けた。結果、混合グループの時よりも多くの質問が飛び交い、男性がいては聞きづらい話が聞けたと好評であった。
集客力のある商業施設で女性消防職員活躍推進イベントをすることによって、女性消防職員の存在を効果的に周知することができた。申込み不要のイベントなので気軽に参加でき、また、他本部と合同でイベントを実施することで、多くの女性職員を動員できた。
企業説明会や学校訪問等で既存施設に女性専用の設備(仮眠室、トイレ、浴室、洗面所)の改修を進め、職場環境の改善に努めていることを説明した。

(学校への広報等)

直接高等学校及び専門学校を訪問し就職担当者に呼びかけをしたことにより、女性受験者数が増加傾向にある。
直接、高等学校、専門学校に採用案内を持参し、進路指導の教職員等と面談し、受験を希望する生徒等には内容説明をしたり、消防署を見学してもらう等の対応を実施している。
消防長の就任あいさつとして市内の高等学校に訪問した際に、消防が女性の働きやすい職場であること、また、女性の活躍できる職場であることを伝え、多くの女性に職員採用試験を受験いただきたい旨を説明した。その際に、校長先生、教頭先生等が消防の女性消防職員獲得に取り組んでいることを初めて耳にしたとのコメントをいただくとともに、進路指導相談において協力いただく旨の回答をいただいた。
各大学に受験説明を行った際に、消防受験希望者と直接話す機会が得られ、受験の応募があった。
進路指導の教諭に直接、女性消防吏員の活躍推進に関するポスターや資料を提示しイメージしていただくとともに、女子生徒へ動機付けを依頼した。
地元高等学校において行った説明会は非常に反響を呼んだ。特に現役女性消防士による募集のプレゼンでは、活動の様子、採用の流れなどを説明、また消防士という職業の良い面などを紹介するなどした結果、消防に対して興味を引くことができ、大変効果があったと思われる。
就職説明会のときに、卒業生の女性消防吏員学生の写真や等身大パネルなどを展示したとき、学生や先生の反応が良かった。

(メディア等)

女性消防職員(交替勤務者)の1日の勤務の様子を動画(YouTube)で公開している。職業説明会やインターンシップなど、学生と接する機会に流していますが、仕事のイメージが湧きやすいと好評である。
--

(ポスター)

PRポスターに女性を起用したことで、出願が増えた。

(ホームページ・SNS)

インターネット上で「女性」「消防吏員」「消防士」のキーワードの文字検索でヒットするようにホームページに「女性消防吏員(消防士)」を記載した。
市のホームページ(消防職員採用案内)に、新たに女性消防職員の勤務中の写真(指令・水難救助・救急の各業務)を掲載したところ、申込者の増加につながった。
ホームページに女性職員のコーナーを設け、各職員の現状や目標を紹介することにより、女性が当たり前前に働いている職場と印象付けることができている。

(その他)

採用試験要項に「女性」を記載し採用試験において女性を採用することを明確に周知した。

【採用に関して】

○平成30年度

採用試験の全体応募者数	65,352	
採用試験の男性応募者数	61,922	94.8%
採用試験の女性応募者数	3,430	5.2%

採用試験で右記の採用枠を設けていましたか。 N=733（複数選択可）	救急救命士枠	社会人枠	その他の枠	設けていない
	114	9	24	586

救急救命士枠			社会人枠		
採用試験の全体応募者数	1,929		採用試験の全体応募者数	91	
採用試験の男性応募者数	1,812	93.9%	採用試験の男性応募者数	89	97.8%
採用試験の女性応募者数	117	6.1%	採用試験の女性応募者数	2	2.2%

その他の枠		
採用試験の全体応募者数	742	
採用試験の男性応募者数	713	96.1%
採用試験の女性応募者数	29	3.9%

○その他の枠について

- ・職務経験者枠
- ・回転翼航空機操縦士枠 等

○平成29年度

採用試験の全体応募者数	72,509	
採用試験の男性応募者数	69,256	95.5%
採用試験の女性応募者数	3,253	4.5%

採用試験で右記の採用枠を設けていましたか。 N=728	救急救命士枠	社会人枠	両方	設けていない
	122	7	2	597

救急救命士枠			社会人枠		
採用試験の全体応募者数	2,056		採用試験の全体応募者数	126	
採用試験の男性応募者数	1,926	93.7%	採用試験の男性応募者数	123	97.6%
採用試験の女性応募者数	130	6.3%	採用試験の女性応募者数	3	2.4%

【女性活躍推進に向けた主な取組例】

(説明会)

当消防本部が主催する就職説明会(合同説明会)及び就職説明会イベント(企業・市町村・関係団体との個別面談)に参加し、女性活躍推進に向け取り組んでいる。
大学の職業説明会や民間主催の職業説明会に参加し、女性の職場環境、各種制度などについて説明を行っている。
女性の採用拡大に向け、就職情報イベント(就職説明会等)において、女性吏員を説明員にすることで、女性目線で消防の仕事の魅力についてPRするとともに、女性が活躍できる職場であることを理解していただけるよう努めている。
女性消防吏員を市町村合同説明会に説明員として派遣し、実体験を交え女性が活躍できる場を説明している。

(学校への広報活動等)

中学校に職員を派遣し、職業観に関する講話や、大学生向けの合同就職説明会に参加することで、女性消防吏員への理解を深める取り組みを行っている。
市内の大学にOBを派遣し、その中で女性の採用を行っていることや、体力面などで不安に感じていることに対し個別の相談に応じている。
採用実績がある大学や高等学校、また近隣の各種学校へ直接連絡を取り、希望があれば積極的に1人でも説明会などを実施している。
管内の全高等学校に職員が出向き、進路担当の先生に受験案内及び女性活躍の分野等を説明する。
中学生世代の女生徒にも消防へ興味を持ってもらうため、職場体験受け入れ書類に男女問わずの文言及び、担当先生への呼びかけを行っている。
女性の受験者数を増やすため合同企業説明会に参加したり、直接高等学校や大学等を訪問し、就職担当者や学生等に受験の呼びかけ等の取組を行っている。

(ポスター等)

女性職員のみを使用した採用試験ポスターを作成する等の取組を行い、女性に対して閉鎖的ではない旨を積極的にPR活動している。
パンフレット及びポスターに女性職員が活躍している旨の写真等を記載し、パンフレットには、女性職員にインタビューした記事を掲載した。

(女性専用施設)

女性消防吏員の採用を考慮し、消防本部、各消防署において、女性専用トイレや仮眠室等の施設・装備品の整備を推進している。
各署に人員配置できるよう、女性専用設備(仮眠室・シャワー・トイレ等)を順次整備している。
女性消防吏員採用計画と同時に施設改修計画を策定し、各署所で女性消防吏員が勤務できるように女性専用設備(仮眠室、トイレ、浴室、洗面所)の改修に取り組んでいる。

(ホームページ・SNS)

当広域連合消防本部のホームページに女性消防吏員の活躍推進のためのポータルサイトを設け、また当広域連合の特定事業主行動計画についても閲覧できるため、これから社会人になる年齢層の女性も消防吏員を身近に感じてもらい、また、消防の仕事に興味を持ってもらえるよう更にホームページを活用していきたい。
ホームページを利用し、当消防本部で働く女性職員全員のコメントをアップさせ、消防の魅力を伝えている。
ホームページに「女性消防職員の活躍」という内容でウェブページを作成し、写真や現在の勤務状況、取組などを紹介している。
Facebook及びホームページを活用し、イベント情報、採用試験情報を掲載した。
採用試験案内を組合ホームページ及び構成市の広報で周知した。

(会議・研修等)

市と一体となった取組として、女性キャリアデザイン研修の実施、多様な部門への女性職員の配置拡大、育児休業等の仕事と子育て・介護の両立支援制度の周知及び活用促進の積極的な働きかけ等を行っている。
女性消防吏員、総務担当者を対象として出産・育児に係る制度研修会を実施。
他の本部の女性職員、官公庁及び他業種の女性職員との意見交換会の場を持つなど、積極的に連絡・情報交換の場を設定している。
市長部局が実施する、女性職員を対象としたキャリアアップセミナー等の研修会へ参加。
年に1～2回、女性職員のみを対象とした活躍推進会議を開催し、女性職員からの意見等を受け、庁舎設備の改善など、女性が働きやすい職場環境向上の実現に向けて取組を行っている。
消防職員委員会とは別に全女性職員を対象に、勤務環境、設備及び装備についてアンケートを実施し、整備に努めている。
当消防本部管轄内の警察署と働き方改革についての意見交換会を実施した。

(その他)

今年度初めて採用となった女性消防吏員が、長く消防職務を継続してもらうように、何でも気軽に相談できる女性相談員を配置した。女性相談員は市役所から派遣された事務職員であるが、現在一人である女性消防吏員が孤独を感じないように、市役所の同年代の職員との架け橋になってもらっている。
広報誌に女性隊員の特集を組むことや、新聞社へ活躍中の女性職員の記事を提供するなど、女性が活躍できる職場であることを地域にアピールする取組を行っている。
市が企画する男女共同参画事業の行事に参加する。
女性職員を毎日勤務・隔日勤務問わずに、様々な部署へ配置している。
女性職員自身が、今後のキャリアプランについてどのように考えているのか実態を把握するため、アンケート調査等を実施し、組織として女性職員の更なる活躍の支援体制を構築する。また、アンケート調査を基に実態に即した各種研修や意見交換を行う。
各消防署において、育児等で隔日勤務が困難な女性救急救命士等を毎日勤務の救急隊員として活用することで、より質の高い救急サービスの提供を実現するとともに、女性消防職員の活躍の場の創出に繋げる。
女性の消防隊配置に伴い、呼吸器の面体一式(Sサイズ、拡声器付)を購入し配布している。
女性職員に対応した施設の整備を行い、職域の拡大に取り組んでいる。また、産前・産後・育児休暇等の休暇が取得しやすいよう、日勤への配置換えや必要に応じて職員の加配を行うなど、組織全体で取り組んでいる。
女性消防吏員が職域やキャリアを拡大することができるように、消防本部への女性職員の配置や消防大学校への派遣等を実施した。
男性の育児休業の取得を推進するため、庁内報等を活用し先駆事例を紹介し、男性が育児休業を取得しやすい職場風土を醸成する。
女性消防吏員のキャリア形成のための研修の機会の確保や、ジョブローテーションによる人材育成、職場環境の改善のため、女性消防吏員からの意見を聴取している。
女性職員をリスナー職員に指名し、女性同士でしか相談が出来ない悩み事等を出来るような環境づくりを行っている。
男性職員の家庭生活(家事、育児・介護等)への関わり強化するとともに、職場を挙げて仕事と家庭(家事、育児・介護等)の両立支援を行う雰囲気づくり・環境整備を積極的に推進する。